

【単年度事業評価様式】

瀬谷区地域子育て支援拠点事業
令和5年度重点目標評価結果・令和6年度重点目標

事業実施期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日(3年度目/5か年度)
事業の実施者	特定非営利活動法人さくらんぼ 瀬谷区こども家庭支援課
事業目的	市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。 【事業・施設運営の基本理念】 1 瀬谷区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営 6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営
事業の内容	1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

令和5年度重点目標の評価

令和5年度重点目標	1 妊娠期を含めた子どもを育てる保護者とともに子どもの育ちを支えられるよう取り組み、より多くの方が利用できるようにします。 2 地域で子育てに関わる誰もが自らの力を生かせるような場をつくり、ネットワークをさらに深めます。 3 より多くの子育て中の親子が子育てサポートシステムを利用できるよう、拠点のネットワークを生かし、提供会員拡大を図ります。
取組内容	・プレママ・プレパパ、父親などが拠点利用につながるようプログラムを丁寧に取り組みます。 ・子育て応援イベント、応援マップづくりなどを通じて地域全体で応援する雰囲気をつくります。 ・拠点内の活動、身近な子育て支援活動に取り組む人が増えるよう豊かな関係性をはぐくみます。ボランティアの方の継続的な活動やその活動が広がるよう努めます。 ・子育てサポートシステム新規事業開始に合わせ、周知に努め、会員増につなげます。
取組の成果	・プレママ・プレパパプログラムの実施回数を増やし、定員を分散化したことで参加者に対し、より丁寧にプログラムを実施することができた。その結果、産後早い時期でのひろば利用に繋げることができた。 ・父親向けプログラムを保育園他地域と協力し、開催することができた。プログラム参加者のひろば利用や担い手としての活動にも繋げることができた。 ・応援ネットの地域別活動では、会議・イベントを通して繋がりが深まり、新たな出会いや関係づくりを進めることができた。 ・子育てサポートシステムでは、拠点のネットワークを活かした事業周知や地域活動をされている方との出会いが提供会員の増加に繋げることができた。
取組の課題	・父親のより主体的育児参加の促し ・地域の子育て層を応援する力や雰囲気さらに高める活動、個人でなく集団アプローチによる子育て支援体制づくり ・子育てサポートシステム会員の利用促進 ・全体を通して周知活動のしくみづくり

次年度重点目標

令和6年度重点目標	1 妊娠期を含めた子どもを育てる保護者とともに子どもの育ちを支えられるよう取り組みます。 2 広く市民に対して、子育て家庭を温かく見守る地域全体での雰囲気づくりに取り組みます。また子育てに関わる誰もが自らの力を生かせるような場をつくり、ネットワークをさらに深め、その輪を広げます。 3 より多くの子育て中の親子が子育てサポートシステムを利用できるよう、拠点のネットワークを活かし、利用・提供会員拡大を図ります。特に利用会員の利用が進むように働きかけます。
取組内容	・プレママ・プレパパ、父親、外国籍の方などが拠点利用に繋がるよう丁寧に取り組みます。 ・子どもをまんなかに保護者とともに育つひろばの環境を作ります。 ・拠点内の活動を含め、子育て支援活動に取り組む人が増えるよう取り組みます。 ・子育てサポートシステムが使いやすくなったことを受け、引き続き周知に努め、会員の増加に繋がります。また、提供会員の活動が広がるよう利用会員の利用促進に努めます。